

事業名	生涯学習情報提供事業費		調書番号	11
細事業名	やまなしまなびネットワークシステム運営費	財務コード	336301	
担当部課室	県民生活 部 生涯学習文化 課 生涯学習企画 担当 (内線)	1653		

事業の概要			
実施期間	始期	H9 年度 ~ 終期	年度
実施主体	県(直営)		
目的	だれ(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	県民	生涯学習に関する情報を容易に取得できる	県民の生涯学習活動の促進
内容	生涯学習に関する情報をインターネットを通じて提供する。 (1)まなびネットワークシステムの運営 情報登録:随時、各種団体等が掲載したい情報の内容を確認し承認。 関係機関から収集した情報を管理者権限により登録。 できる人材・ほしい人材に登録されている情報の内容を更新する。 (2)メールマガジンの発行 (月1回) 配信対象:配信希望者 (3)まなびネットワークの保守管理(保守管理業務) ネットワークセキュリティの維持に必要な対応		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)									
区分	指標	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
活動指標	学習機会情報提供件数(新規登録件数)	目標	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000
		実績(見込)	820	641	703	768	1,190	1,200	
		達成率	82.0	64.1	70.3	76.8	119.0		
		達成区分	b	c	c	c	b		
成果指標	学習情報へのアクセス件数	目標	1,000,000	1,000,000	1,000,000	100,000	100,000	100,000	100,000
		実績(見込)	544,982	387,853	406,719	128,874	87,218	100,000	
		達成率	54.5	38.8	40.7	128.9	87.2		
		達成区分	c	d	c	a	b		
決算(予算) 単位:千円		3,704	3,706	13,063	2,664	1,895	2,007	2,007	

事業の評価(平成27年度の業績評価)		
活動指標	b	評価
成果指標	b	
目標値には及ばないが、目標値の87%以上のアクセス数があり、意図した成果をほぼ上げている。 H25年10月のシステム改修時に、検索ロボットによるアクセス件数を除いたことから、H26年度以降の目標値及び実績値が大幅に下がっている。		

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

見直しの必要性(平成29年度に向けた改善等の考え方)	
県関与の必要性	判定 <input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い 説明 <input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他(ダイナミックやまなし総合計画及び山梨県まち・ひと・しごと創生総合戦略での位置づけ)
	説明 生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律では、県が生涯学習の推進に努めるよう記されている。また、総合計画では「就業のための学び直し情報」を提供することが規定されており、総合戦略においても、地域活性化を促す人材育成のため、やまなしまなびネットワークシステムを活用して県民の生涯にわたる自主的・主体的な学習活動を支援することが記されており、県関与の必要性は高い。
	有効性(成果向上) <input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上は余り望めない 説明 アクセス件数増加のためには事業のより効果的なPRにより成果の向上が期待される。また、情報量を増やす必要があるが、現行システムは情報登録の方法が複雑であるため、登録方法を簡略化して情報量を増やしていくことによって成果の向上が期待できる。
見直しの余地	判定 <input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない 説明 <input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他(効果的な制度のPRの実施)
	その他 説明
見直しの必要性	有 県の総合計画等に基づき県民に情報提供を行うこととなっているため、より効果的なまなびネットのPR方法を検討していく必要がある。また、情報登録の方法を簡略化することにより情報量を増加させ、成果指標となっているアクセス件数を増やす必要がある。なお、現行システムの改修については、平成30年9月の保守契約期間満了にあわせて行う予定であることから、平成29年度は、システム入力簡略化の具体的な方法について検討を行っている。

見直しの方向(平成29年度当初予算等での対応状況)	
実施方法等の変更	説明 新たな情報提供機関を発掘し、積極的に情報登録依頼して情報量を増やすとともに、まなびネットをより多くの県民に活用していただけるよう、多くの県民が集まる場でPRしたり、様々な媒体を使って県民に広報する。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。